



ウズベキスタン

BOP層実態調査レポート

ウズベキスタン共和国 - 基礎データ -

面積	44万8,900平方キロメートル（日本の約1.2倍）
人口	3,158万人（2016年初、出所：国家統計委員会）
首都	タシケント 人口279万人（2016年初時点）
実質GDP成長率	8.10%（2014年）
名目GDP総額	626億ドル（2014年）
一人当たりの名目GDP	2,046ドル（2014年）
対米ドル為替レート	2,311.40 ウズベキスタン スム（2014年平均値）

出所：JETROホームページ 国・地域別情報「ウズベキスタン基本情報 概況」（2016年6月更新）

調査月日	2015年10月
調査対象	物流
調査場所	タシケント市
換算レート	1米ドル≒2,663UZS (ウズベキスタン・スム。2015年10月現在)



1 輸入貨物の流れ

トラックや鉄道、航空便で運ばれた貨物は、税関倉庫に搬入され、通関手続きの後、内貨品として国内各地に配送される。他国への経由貨物は、税関倉庫にて積み替えの後、最終目的地に運ばれる。

輸入通関に当たっての手続きや必要書類の概要は以下のとおり。

- 輸入通関申告。政府の定める高度技術設備リストに該当する貨物の場合、関税は免除となる(国内販売される際の付加価値税も免除)。
- 商品代金請求書、領収書等の価格証憑書類。譲渡物品または関税が分割払いされる場合は、省庁間関税率評議会の承認書ないし関税支払いを確保できる担保や銀行保証書が必要となる。
- 船積書類、輸出国輸出通関証
- 植物ないし動物検疫証明書



この他、貨物によって以下のものが必要となる。

- 製品安全基準法や食品衛生法など、各種取締法に該当する品目については、規格・基準に適合する旨の内閣令で定める適合証明書
- 輸入許可書(必要な物品について)
- 原産地証明書(原産地の確認が必要な品目について)
- 対外経済関係投資貿易省の確認書類(経済協力のための貨物など)
- その他、法で定められた関税上の便益や特典を受けようとする場合、対象物品である旨を証明する書類、およびその物品の価格と国内において発生する諸経費の額を確認できる書類

なお、全ての商品には内容物、保存方法、製造年月日、使用期限、製造者、輸入元などをウズベク語ないしロシア語で表示することが義務付けられている。現在のところ、必要事項を印刷したステッカーを輸入業者が商品に張り付けているが、近い将来、商品パッケージに直接表示を印刷することが義務付けられる見通しである。

また、関税、物品税(excise tax)の他、20%の付加価値税が課される。通関には通常10～15営業日を要するが、品目によっては3～4日で済むものもある。

2 輸入品/販売許可申請先当局

医薬品	保健省医薬品医用機器品質局
食品	規格基準局
化粧品	規格基準局

3 電子通関システム

2012年12月に公布された内閣令により、輸出入通関の申請が電子化されている。申請フォームは空港、鉄道、道路の税関とも共通で、ネット上で必要事項を入力し、申請者のパスワードを入れてサインすることによって申請が受理される。

4 国内の国際貨物取り扱い空港

ウズベキスタン国内には12の空港があるが、1ヶ所は小型機用の不定期便空港であるため、実質11空港である。11ヶ所のうちの7カ所が国際空港となっており、国際貨物を扱っているのはタシケントとナヴァーイー(南西部ナヴァーイー州の州都)の2空港である。

ナヴァーイー空港は、中央アジアにおける航空貨物のハブ空港であり、ナヴァーイー自由工業地区(FIEZ NAVOI)に近接している。同空港の貨物ターミナルは冷凍・冷蔵及び保温貯蔵庫、危険物保管庫、鉄道積み替え場などの施設を有し、各種貨物扱い能力を備えている。同ターミナルは大韓航空の協力を得ており、KALの貨物も扱っている。タシケント空港は市内にあり、ナヴァーイーと同等の機能を持つカーゴターミナルを有する。



7 道路輸送

ウズベキスタンにおける道路輸送業は免許制であり、中央政府の自動車・河川交通局が免許交付も含めて管理監督を行っている。国境を越える道路輸送も含め、数多くの輸送トラック業者が営業しており競争も激しい。一例として、UZVNESHTRANSを以下に紹介する。

UZVNESHTRANS

1991年に設立され、主に輸出入貨物の輸送を行っている。航空や鉄道、水路などの他の運送会社や保険、倉庫等の業者と連携し、以下をはじめとする貨物の輸送に携わっている。



<UZVNESHTRANSのロゴ>

主な貨物:

綿、リント布、小麦、肥料、非鉄金属、石油・製品、産業用設備、機械等

上記の品目は国家の戦略品目に指定されており、UZVNESHTRANSはこれら戦略品目の輸送業者に指定されている。しかし、これら品目のすべてについて扱業者が制限されているわけではなく、綿などいくつかの品目については、指定以外の業者も扱える。

8 道路輸送料金

20又は40フィート・コンテナの国内輸送料金は、1kmあたり1~2米ドル。タシケントからサマルカンド(約310km)まで20又は40フィートのコンテナを24t積みトラックで輸送した場合、通常片道250万UZSかかるが、その時の燃料代や冷蔵設備等の有無、貨物の荷姿、液体やバラ荷等貨物の種類などによって異なる。

タシケントからサマルカンド以外の主な都市へのトラック(24トン積み)輸送片道料金は以下のとおり。

アンディジャン	240万UZS	352 km
カルシ(カシュカダリヤ州)	280万UZS	455 km
ナマンガン	225万UZS	290 km
テルメズ(スルハンダリア州)	450万UZS	673 km
フェルガナ	230万UZS	320 km
ナヴァーイー	300UZS	468 km
コーカンド(フェルガナ州)	215万UZS	238 km
ブハラ	360万UZS	569 km
シルダリア	120万UZS	75 km
ホレズム	580万UZS	968 km
ジザフ	160万UZS	202 km
ヌクス(カラカルパクスタン共和国)	750万UZS	1,090 km



9 道路輸送車両



◆ GMウズベキスタン工場製のDamas

市内の少量荷物運送によく使われており、料金は通常4~5万UZS。



◆ 中国製の軽トラックChangAn

市内の1トンまでの貨物運送によく使われており、料金は通常6~7万UZS。荷台の覆いは数種類ある。



◆ ロシア製Gazel。

写真は1.8トン積みトラックで、これ以外にミニバンや乗用キャビン付きトラック、救急車仕様等がある。市内運送の料金は車種によって異なるが、通常6~10万UZS。



◆ ロシア製GAZ 53

3.5トン積みで市内運送料金は10~18万UZS。



◆ タシケント市内にあるトラックの溜まり場。

10~15台駐車でき、個人客はここで荷物の運送を頼む。



10 国際宅急便

クーリエサービスの国内外企業は以下のとおり。

国内企業

社名	住所	電話
BTS	Tashkent city, Bobur str. 22	99871 2537079、99871 2533285
DMS	Tashkent city, Shota Rustavelli str., 82 a	99871 2805051、99898 1216967

外国企業

DHL、FedEx、TNT、UPS、Aramex (UAE)、EMS(ロシア)

11 輸入品仕入・物流のケーススタディー

ロシアメーカ(工場) ▶ (カザフスタン経由) ▶ ウズベキスタン(タシケント市内食品輸入販売企業X社)

X社の主な物流委託業者はArc-Bulak (通関手続きと通関後のトラック輸送を行う物流業者)である。ロシア工場で製品を、Arc-Bulakないしロシア業者の冷蔵トラック、あるいは鉄道の冷蔵貨車に積み、カザフスタン経由でウズベキスタン国内に送り出す。ロシア工場側では、併せてインボイスや原産地証明その他の通関必要書類をX社に送付する。

トラック輸送の場合は、カザフスタン国境の税関に貨物が到着しArc-Bulakが受け取り税関の保税倉庫に入れ、Arc-Bulakが通関手続きを行う。

鉄道輸送の場合は、Tashkent-tovarnayaやChukursay、Sergeliなどの駅に到着し、駅の税関で通関手続きを行う。通関手続きには通常1回につき業者委託費も合わせ67万~130万UZSを要する。

通関手続きが終了すると、輸入商品がウズベキスタン規格を満たしている旨の証明書の交付を規格基準局から受けるよう税関から指示され、通関手続き業者が商品サンプル等を持参して規格基準局で手続きを行う。規格基準局での手続きには通常10日営業日を要する。規格基準局の証明書が発行されれば、通関手続き必要書類はすべて整い、X社は関税を支払い、貨物を内貨品として税関から受け取り、卸売りや小売り企業などとの取引プロセスに回す。貨物が税関に到着してから引き取るまでの手続きに、合計14日程度を要することになる。

<調査を終えて>

- 中央アジアの道路は最新の建設や補修の技術を導入すれば物流コストは20~30%を削減できると言われている。
- ウズベキスタンは国際機関の協力を得て国際水準の道路補修・建設を進めている。特に農産物などの物流において、貯蔵設備や荷捌き、駐車場などの機能を総合的に備えた物流センターへの需要は極めて高い。また、物流部門における専門人材の育成にニーズがある。船舶による大量輸送ができないため、鉄道や道路の陸送、空輸が重要であり、2010年12月に物流部門発展のための大統領令公布され、同令に沿って投資が進められている。
- ウズベキスタン物流業発展協会では、全国の物流拠点を繋ぐネットワークの強化に取り組んでいる。

- 【参考】
- CARC(中央アジア地域経済協力)ウズベキスタン旅客貨物業・運送業協会ホームページ <http://cfcfa.net/directory-of-transport-and-forwarding-companies/air-transport> (英語ページ有)
 - ADBL(物流ビジネス開発協会) <http://adbl.uz/index.php/en/news> (英語ページ有)
 - 物流ビジネス協会の物流関連情報ポータル <http://logistika.uz/en/> (英語版)